

黒野城と加藤貞泰公研究会

2020年度(令和2年)活動行事記録

黒野城外堀 搦手側土塁跡 有志による竹や草刈り作業でスッキリ

外堀土塁跡の雑草・竹の刈り作業は、特に夏季には数回行わないと太く大きな竹になってしまうので定期管理が必要。
今年も雨期が長く蒸し暑い中、蚊やムカデに悩ませながら有志により草刈機などで清掃。



研修会 「古地図にみる関ヶ原の戦い」 & 「9.12豪雨災害展」見学

黒野城と加藤貞泰公研究会
2020年(令和2年)8月27日(木)
9:30~14:30頃
会場・岐阜県図書館
・安八郡安八町
ハートピア安八
歴史民俗資料館

岐阜県図書館で開催中の「古地図にみる関ヶ原の戦い」を見学。江戸時代に描かれた関ヶ原合戦の古地図には加藤貞泰が犬山城に加勢や丸山烽火場に布陣が記されている布陣図28点などが展示。図録には黒野城研究会発行史料の掲載あり。

令和2年
8月12日(土)~10月15日(日)
平日 10:00~20:00 土・日 10:00~18:00
岐阜県図書館 二階 企画展示室Ⅱ
休館日 毎月第1曜日(祝日の場合は翌日)
9月1日~30日(土曜による休館)
8月19日(土) 予定あり(雨天決行を要します)
令和2年「関ヶ原古地図展」が関ヶ原町にオープンします。
それにあわせて、岐阜県図書館で古地図展を中心として、
「古地図の視点から関ヶ原の戦い」展を開催します。
入場無料
The World of Old Maps
The Battle of Sekigahara as seen on old maps
岐阜県立総合文化センター
〒500-8585 岐阜市大田町1-1-1
TEL 058-275-3111 FAX 058-275-3111
E-mail gsj@pref.gifu.jp

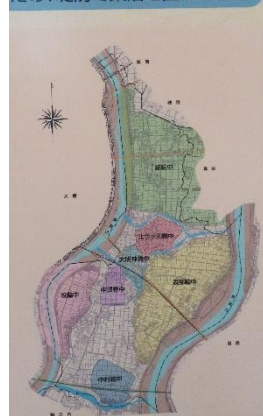


安八の歴史民俗資料館では、44年前の昭和51年9月12日の長良川堤防決壊の災害展見学。安八町役場の衣斐久和係長の説明と岩田義城氏から当時の水害状況を聞く。
安八町は加藤貞泰の采地でもあり、「尉殿堤」を築いている。

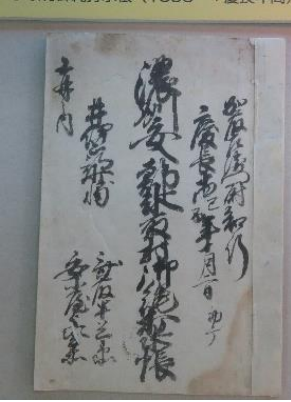
常設展・期間展示
9.12豪雨災害展
昭和51年9月12日、安八町大森地区において長良川右岸堤防が決壊して、
被害が安八町を激しく襲った。この被害の歴史を、被害の軌跡として
歴史資料館に公開し、災害を忘るるべからずとしたい。

令和2年7月21日(火)~9月27日(日) **入場無料**
ハートピア安八 〒503-0199 岐阜県安八郡安八町赤坂10番地
歴史民俗資料館 ☎0584-828-1515
開館時間 午前9時30分~午後5時(団体予約の場合は別途要)
休館日 月曜(祝日)、月曜の祝日に代わる日(例:8月31日)

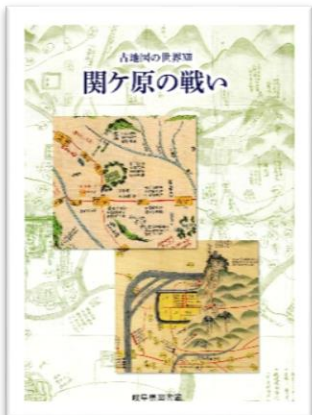
ため、堤防で集落を囲んだ地域



水取村御縄打水帳 (1596~:慶長年間)



慶長14年水取村
加藤貞泰検地帳



図録

「黒野城主加藤左衛門尉貞泰 関ヶ原合戦の史料研究」誌発刊

研究会は今年6月に創立10年を迎え、研究会活動の成果の一つとして「黒野城主加藤左衛門尉貞泰 関ヶ原合戦の史料研究」の改訂第2版を発刊しました。5年前の平成27年に初版(42ページ)100冊を発行しましたが、第2版は貞泰公の関ヶ原関係集大成として多数の寄稿者によるご協力で全135ページとなり500冊発行。

今年秋に、岐阜県が関ヶ原町に「岐阜関ヶ原古戦場記念館」のオープンを目標に編集期間8ヶ月で発刊の史誌が完成しました。

多くの方々に貞泰公の関ヶ原を知って頂くために、全国の著名な歴史学者、歴史出版社、岐阜県、関ヶ原町、岐阜市、犬山市など関係市町、図書館、資料館や絵図など掲載利用許可者に寄贈しました。

岐阜新聞 2020年(令和2年)8月7日金曜日

黒野城主、関ヶ原合戦までの道たどる

美濃国4万石を治めた一代限りの黒野城主・加藤貞泰(1580~1623年)を紹介する地元の郷土史愛好家グループ「黒野城と加藤貞泰公研究会」(河口耕三会長)が、会の設立10周年を記念した研究誌を発刊した。メンバーは「郷土の英雄についてより深く知ってもらおうきっかけになれば」と話している。(山田俊介)

貞泰は1594年に現在の岐阜市黒野に黒野城を築いた。洪水に苦しむ領民を守るため長良川に「尉殿堤」を設けるなど、一帯の治水に尽力。1600年の関ヶ原の戦いでは黒田長政や竹中重門らと共に東軍に加勢した。

研究会は2010年6月に発足。住民ら32人が所属し、古文書調査など研究成果に基づき、児童を対象にした城下町案内やオリジナル紙芝居の上演といった活動を続けてきた。

研究誌は「黒野城主加藤左衛門尉貞泰 関ヶ原合戦の史料研究」と題し、書状や伝記、布陣図を基に、

加藤貞泰の功績、一冊に

研究会、設立10周年で発刊

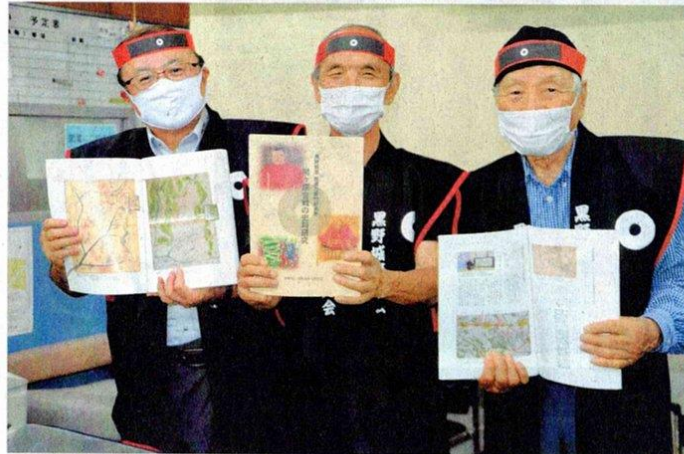
関ヶ原合戦の前哨戦となる犬山城の攻防から天下分け目の戦いに臨むまでの行動をまとめた。

A4判135頁で500部を発行。県図書館や市立図書館のほか、ゆかりの地の資料館などに寄贈する。

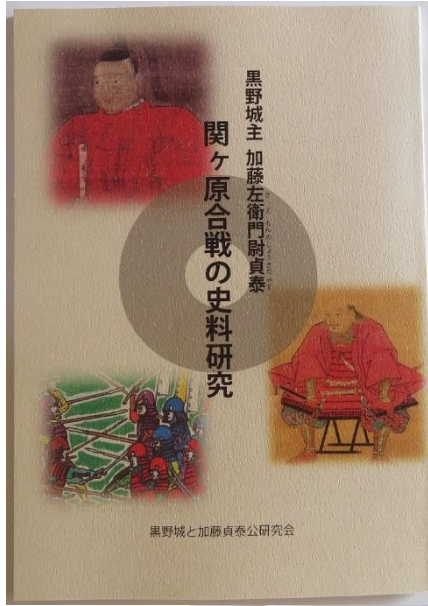
河口会長は「あまり目立たない武将だが、活動の積み重ねで地元での認知度が上がってきたと実感している。

」と振り返る。設立10周年の節目の一年に合わせて企画した催しは、新型コロナウイルスの影響で多くが中止を余儀なくされているが、「これからもより多くの人に活躍を伝えていきたい」と意気込んだ。

研究誌に関する問い合わせは、会のホームページやフェイスブックで受け付けている。



設立10周年を機に研究誌を発刊した「黒野城と加藤貞泰公研究会」のメンバー＝岐阜市役所



研究会創立10周年記念 賛歌「あゝ黒野城下町」DVD発行

黒野城と加藤貞泰公研究会
2020年(令和2年)9月1日(火)

2020年(令和2年)9月8日 火曜日

岐阜市黒野の「賛歌」DVDに

城下の四季風景 空撮映像で探訪

市民グループが300枚配布

岐阜市黒野地区の歴史や文化を研究する市民グループ「黒野城と加藤貞泰公研究会」が、地区の魅力を歌と映像で伝えるDVDを作った。地元四季の景色をドローンなどで撮影し、その映像を同会が作った賛歌「あゝ黒野城下町」に乗せて紹介したもの。300枚を希望者に無料配布する。

2010年に発足した同会は、黒野城跡や周辺史跡の地図や看板を作ったり、歴史案内をしたりと幅広く活動している。賛歌は、地元の音楽家らの協力で昨年1月に作成し、CD500枚を学校や図書館などに配ったところ好評だったため、発足10周年の節目に映像を追加してDVDにした。映像は、河口耕三会長

(72)と高井勝副会長(75)が中心となり、歌詞に登場する御望山や板屋川などを約1年かけて撮影。地上での撮影とドローンによる空撮がメインの2種類を収録した。河口会長は「素晴らしい歌に負けないよう映像にもこだわった。多くの人にふさふさの素晴らしい風景を知ってもらいたい」と話している。

配布の申し込みは、往復はがきに住所、氏名、電話番号、「あゝ黒野城下町DVD希望」と書き、河口会長宛てに送る。多数の場合抽選を行い、結果を返信はがきで知らせる。受付期間は11月28日(当日消印有効)。



岐阜市黒野地区の魅力を歌と映像で紹介するDVDを示す河口耕三会長(右)と高井勝副会長＝岐阜新聞本社

黒野城と加藤貞泰公研が10周年 岐阜

岐阜市黒野地区の歴史を研究する市民団体「黒野城と加藤貞泰公研究会」が、設立10周年を記念し、地元の魅力を映像にしたDVDを作った。地道な活動で、城や城下だった貞泰の存在も少しずつ知られるようになり、河口耕三会長(75)は「調べれば調べるほど浪漫がある。多くの人に魅力を知ってほしい」と節目に思いを新たにしている。(大沢悠)



抽選で300人にプレゼント

黒野城は安土桃山時代により発足。城跡や周辺の貞泰が築城し、江戸初期に寺社などを紹介するマップをかけ、十六年、城下をめぐり、や案内板を作ったり、黒野小学校で歴史を伝えたりする活動をしてきた。

さらに研究会は「八年に指定されている。研究会は二〇一〇年、地域の歴史を知ってもらおうと、住民らに「あゝ黒野城下町」と題したオリジナル曲を作り、翌年にCD化。会員有志が歌詞を考え、黒野出身の音楽教師が作曲。歌は当時の黒野小の校長と岐阜市出身のソプラノ歌手が務めた。

歌の評判が良かったことから、今回、地元の風景映像を歌に乗せたDVDの制作を企画した。

計七分の映像では、地元の板屋川や御望山のほか、桜やこいのぼり、柿など、美しい黒野の四季表は九月二十八日(当日消印有効)。河口会長「09からの風景も撮影し、今月0(1786)6564

地元の魅力満載DVD作製



10周年を記念して作ったDVD「賛歌『あゝ黒野城下町』」を紹介する。左から河口耕三会長、黒野城下町DVD制作委員会委員長、高井勝副会長、岐阜市黒野地区で



本邦土産と期する黒野城跡。現在は公園として整備されている。岐阜市黒野で

「黒野城と加藤貞泰公研究会」による「現在岐阜市黒野町で生誕。豊臣秀吉の家臣として黒野4万石を16年間豊臣治めたその後、徳川家康の家臣となり、大坂冬の陣、夏の陣で功績を挙げ、伊予国大洲(愛媛県)へ封じられた。

研究会創立10周年を記念して、郷土愛の醸成と郷土の風景を改めて知っていただくため、賛歌『あゝ黒野城下町』のDVDを制作・発行しました。2019年1月に、賛歌CD盤を500枚制作しましたが、今回は歌詞に登場する黒野地域の四季の風景など画像のDVD制作部会を昨年度に立ち上げ、撮影、編集にて1000枚制作。郷土の学校、施設、図書館、自治会、岐阜市など地域の各種団体などに配布し、またご希望の方には、回覧等で募集し名様に無料配を企画しました。DVDの映像は、黒野地域の四季の風景と空から見る令和の眺望(ドローン撮影含む)を収めたもので、吸入版とカラオケ版を収録。(ケース入り・歌詞付)

- 「あゝ黒野城下町」歌詞
- 一 古城の里に 春を呼び 若き城主の 面影を 蛇の目の紋に 誇りもち 心を結び 時を越え 住み良い暮らしめがさす
 - 二 鶴岡の里に 御望の山 古き話の 小川市 黒野の歴史 誇りもち ホタル飛び交う 板屋川 豊かな自然 守る町 あゝ故郷の城下町

加藤貞泰 1580-1623年。「黒野城と加藤貞泰公研究会」による「現在岐阜市黒野町で生誕。豊臣秀吉の家臣として黒野4万石を16年間豊臣治めたその後、徳川家康の家臣となり、大坂冬の陣、夏の陣で功績を挙げ、伊予国大洲(愛媛県)へ封じられた。

2020年(令和2年)9月16日(水曜日)



編集局 編集局 西濃支 東濃総 びだ高 中濃総 美濃加 各務原 羽島支 本巣支 海津支 恵那支 中津川 飛騨支 下呂支 郡上支 可児支 本紙請朝 不動産 不重 毎月第3 弁護士 山田雄大

賛歌「あゝ黒野城下町」DVD配布

黒野城と加藤貞泰公研究会
2020年(令和2年)10月10日(土)・11日(日)
黒野城跡公園

新聞紙上や自治会回覧などでDVD希望者を募集。往復ハガキでの申込者90名が黒野城跡に来場。遠くは可児市、一宮市、揖斐郡大野町など岐阜市外からも18名が応募。初日は台風の影響であいにくの雨でしたが午後から雨も上がり、スタッフ11名が来場者との会話などで充実した二日間でありました。来場者駐車場をスギ薬局様にお世話になりました。さてDVDを観賞した印象はいかがであったでしょうか？

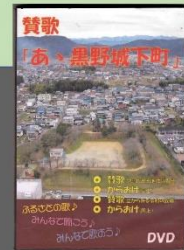


ふるさとの歌が DVD になりました

故郷の風景が地上からも、
上空からもいっぱい入っています



黒野城と加藤貞泰公研究会では、創立 10 周年を
記念して賛歌『あゝ黒野城下町』を DVD にしました。
ご希望の方には抽選で 300 名様に差し上げます。
下記の要領よりお申し込みください。



- ▲ 申込方法 往復ハガキに次の要領で記入して申込下さい。
- 宛先 〒501-1114 岐阜市今川 463-3 河口精三
 - 記入事項 ①「あゝ黒野城下町DVD希望」
②郵便番号 ③住所 ④氏名 ⑤電話番号
- 返信ハガキ宛先欄に申込者の住所・氏名を記入して下さい。
※ 抽選結果は、返信ハガキでお知らせします。

・受付期間 9月11日(金)～9月28日(月)消印有効

- ▲ 配布方法 10月10日(土)、11日(日) 午前9時～午後4時の時間に
黒野城跡公園(岐阜市黒野 297-1・旧 KVK 工場北)にて直接お渡しします。
駐車場はスギ薬局駐車場をご利用下さい。

- ▲ 問い合わせ先 『黒野城と加藤貞泰公研究会』ホームページ



テーマ「1600年頃の安八は加藤貞泰の領地だった」 安八町で河川と黒野領主の関わり講演

主催者である木曾三川フォーラム会長の小野賢悟氏からの要請で、黒野城主が築いた尉殿堤などについて河口会長が講演した。岐阜から大型バスとマイクロバスなどで参加の約60名が「森部輪中と水害・治水を学ぶ」歴史探訪に堀正安八町長や木曾川上流河川事務所所長、丸山幸太郎氏、元安八町長丹羽正治氏等の講演会に、研究会から6名参加。昭和51年9月12日の豪雨災害について学びました。



堀正 安八町長



木曾三川フォーラム会長小野賢悟氏



木曾三川フォーラム事務局長柴田氏

河川 公益財団法人河川財団による
基金 河川基金の助成を受けています。

木曾三川歴史探訪

森部輪中と水害・治水を学ぶ

10/18 日曜日

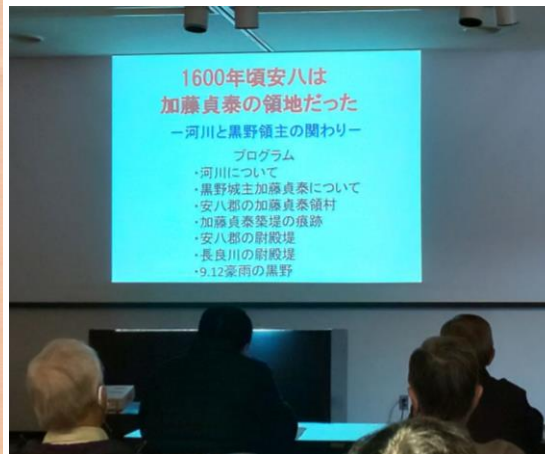
会場 安八町中央公民館 安八町南今ヶ淵400
集合 JR岐阜駅団体バス乗降場
定員 45名(要申込み) 無料 昼食は各自持参してください

スケジュール

8:00	受付(JR岐阜駅団体バス乗降場)
8:10	出発
9:20	安八町大森 長良川右岸堤防決壊現場
9:40	移動 安八町中央公民館
10:00~10:30	開会式
10:40~11:30	挨拶:木曾三川フォーラム会長 安八町長 木曾川上流河川事務所所長 「1600年頃安八は加藤貞泰の領地だった」 黒野城と加藤貞泰公研究会 河口耕三氏
11:30~12:00	「防災教育で学んでいること」安八町立結小学校
12:00~13:00	昼食
13:00~14:00	「安八輪中」丸山幸太郎氏
14:10~14:40	「豪雨災害の報告」元安八町長 丹羽正治氏
14:50~16:00	「9.12号災害とその後の河川整備について」木曾川上流河川事務所出発
16:10	安八町中央公民館
17:40	到着/解散 JR岐阜駅団体バス乗降場

参加申込み
①氏名②住所③電話番号(携帯)を記載し往復はがき又はEメール・FAXでお申込みください。
×切 令和2年10月9日(金)
申し込み・問い合わせ先
木曾三川フォーラム事務局 〒502-0032 岐阜市長良高嶺町2番地
Tel/090-7697-3508(柴田) Fax/058-232-7676 Email/kisosansen-ho@ccn.aitai.ne.jp

主催:木曾三川フォーラム
共催:国土交通省木曾川上流河川事務所、安八町
後援:愛知県、岐阜県、岐阜市、大垣市、関市、美濃加茂市、各務原市、羽島市、笠松町、岐南町
長良川流域環境ネットワーク協議会(一部申請を含む)



写真提供 神山悦朗氏

「岐阜関ヶ原古戦場記念館」& 「関ヶ原町歴史民俗学習館」見学

黒野城と加藤貞泰公研究会
2020年(令和2年)10月30日(金)
12:00~17:00 関ヶ原町

10月22日にオープンした「岐阜関ヶ原古戦場記念館」の見学にコロナ対策で事前予約した9名の会員が参加。最初に隣接しリニューアルした「関ヶ原歴史民俗学習館」に訪問。飯沼館長の案内で展示物見学。ここでは最新の関ヶ原合戦書籍が数多数展示。寄贈した研究会発行「加藤貞泰 関ヶ原合戦の史料研究」も並んでいた。続いて完成したばかりの古戦場記念館では、丸山幸太郎先生も一緒に入場。臨場感溢れる体験映像などを見学。屋上の展望ルームから古戦場全景が360°のパノラマ。記念撮影し、関ヶ原町役場を訪れて、帰りは丸山烽火場の電柱看板を見学。



黒野城跡 駐車場問題 →長年の課題が解消しました!!



従来は路上駐車



岐阜市公園課整備
11月 数台駐車可能になる!!



蘇る黒野城跡 北西土塁の大樹伐採

黒野城と加藤貞泰公研究会

2020年(令和2年)10月
黒野城跡公園

黒野城跡は長年の間に土塁上の樹木が成長し、大木となり景観を損なう樹木もあります。築城当時の土塁が望めるように、北西の大樹木伐採を市公園課に申請し10月に伐採。伐採中、惜しまれる意見もありましたが、土塁の威容が蘇りました。

伐採後



伐採前



昭和時代



南西側から望む



昭和40年代頃の樹木(桜)
(水上公園は出来ていない)
玉木和廣氏蔵

昭和時代成長前の常緑樹は小木



西側から望む



北側から望む

岐阜大学地域科学部 授業課目「現代のまちづくりと住民」 「黒野城のまちづくり」説明

黒野城と加藤貞泰公研究会

2020年(令和2年)11月16日(月)
14:45~16:15(90分)
岐阜大学地域科学部

富樫幸一教授からの要請で、地域科学部1年生の学生14名に「黒野城のまちづくり」と題して、研究会の活動目的・黒野城と城主の歴史・偉業・水害・研究会活動の紹介をプロジェクター170枚の資料で説明(河口会長)。また最後にDVD「あゝ黒野城下町」の映像を紹介しました。

終了後、受講者全員から感想文が提出された。黒野城の紹介で知名度アップ、学生からは研究会員の地域住民との関わり(大学・小学校など)、地域への愛着、熱意さなど評価も良く、研究会活動が伝わりました。




配布資料(他にマップ・リーフレット・会報)

受講感想文

揖斐「ふるさと歴史講座」一行来訪 黒野城跡と光順寺山門、多賀神社外堀案内

黒野城と加藤貞泰公研究会

2020年(令和2年)11月21日(土)

午後1:30~3:30頃

黒野城跡と城下町

揖斐の「ふるさと歴史講座」の皆さん17名が、東海古城研究会の村瀬二郎氏(揖斐郡春日出身)と揖斐郡大野町の関谷氏の引率で黒野城跡に来訪。一週間前の11月14日に村瀬氏と関谷氏が下見に来られ、今日は4台の自家用車で羽羽城跡・北岡田家住宅・西軽海城跡・宗慶大塚古墳を見学し黒野へ。秋晴れの好天の中、黒野城跡から伊藤家の土堀と門、光順寺山門、聖観音堂、スギ薬局駐車場から車で多賀神社駐車場へ、神社と外堀跡を案内して解散。翌日、来訪者のひとり揖斐の小岩さん(女)がDVD3名分を受取に来られました。



研究会幹事の名知さんは、明智光秀の筆頭一族、明智左馬助(秀満)の郎党林丹四郎武俊の子孫にあたり、揖斐とのご縁を語る



外堀の遺構の関心

関ヶ原玉ノ城山・大谷吉継陣跡・関ヶ原古戦場記念館 小和田哲男館長訪問、加藤貞泰PR

黒野城と加藤貞泰研究会
2021年(令和3年)2月10日(水) 9:00~17:30
関ヶ原町&岐阜関ヶ原古戦場記念館

昨年10月に岐阜関ヶ原古戦場記念館の館長に就任された小和田哲男先生に面会予約し、加藤貞泰の関ヶ原合戦をPRの目的で役員が訪問。その前に、お世話になっている山中の高木優榮氏宅を訪れ、直ぐ近くで最近NHKBSプレミアムで話題になった「玉ノ城山」の麓と高木宅傍の大谷吉継陣跡に案内して頂く。その後、古戦場記念館を見学し、竹中重門コーナーに貞泰記載の書状と古文書2点の展示物を確認。記念館堀副館長、吉村課長とスタッフ2名と共に小和田館長室で30分の面談。電柱看板、光泰貞泰足跡、関ヶ原誌、関ヶ原紙芝居、旗、会報、DVD等資料提供。



玉ノ城山を背景に新幹線



高木優榮氏



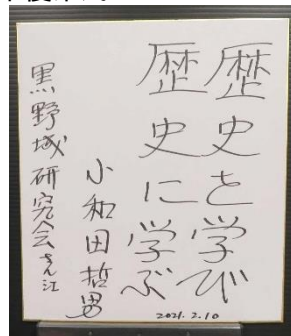
840年の由緒歴史の若宮八幡神社
この上に大谷吉継陣跡



大谷吉継陣跡



高木優榮氏らボランティアが整地した松尾山眺望地



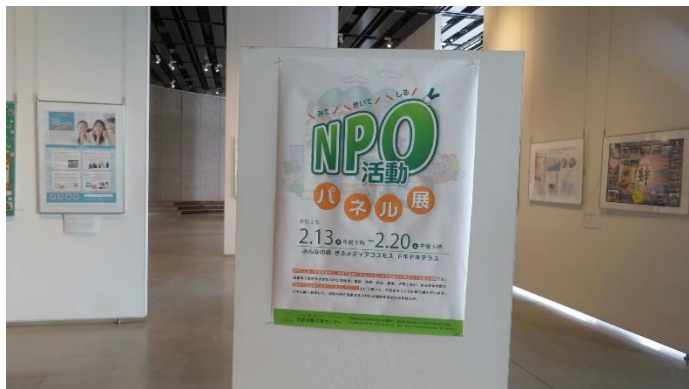
古戦場記念館館長室にて小和田哲男館長と研究会幹部・色紙を書いて頂く

14:30~15:00

「NPO活動パネル展」出展

黒野城と加藤貞泰公研究会
2021年(令和3年)2月13日(土)～20日(土)
ぎふメディアコスモス ドキドキテラス

岐阜市市民活動交流センター主催「NPOパネル展」に今年度も出展しました。本年度は研究会3大事業をパネル紹介。チラシの配布として渋沢栄一を大蔵省に推挙した郷純造と清之助の資料を発行。



NHK大河ドラマ「青天を衝く」 主人公の渋沢栄一 出世の立役者は岐阜(黒野)出身・郷純造

渋沢栄一とは

幕臣から明治政府の大蔵官僚を経て実業家に転身。生涯で500余りの会社を設立。「日本資本主義に父」・「銀行の神様」とも呼ばれる。2024年から新一万円札の顔になる人。



日経ビジネス電子版より

郷純造・誠之助の生誕地に看板企画中

郷純造とは

黒野村生まれ。幕臣から明治新政府に入り、大蔵省で活躍。全国大名諸藩の「藩債処分」などに心血を注ぎ、初代大蔵次官を勤めた郷土の偉人。新政府の大蔵省で洋行帰りの渋沢栄一や前島密らの登用を大隈重信に推薦した。

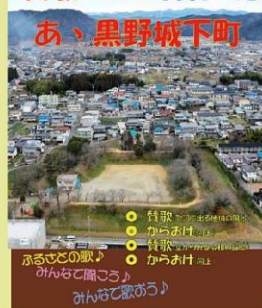


郷誠之助とは

郷純造の長男で黒野村生まれ。実業界に身を置き、明治～昭和初期に王子製紙など30数社に及ぶ企業再建や日本商工会議所会頭など70を越す要職に就く。渋沢栄一の後を継いだ日本経済界の世話役。



「賛歌 DVD制作・発行



「黒野城主の関ヶ原合戦史料研究」誌発刊 関ヶ原合戦は犬山城の攻防から始まる

黒野城主加藤貞泰4万石は、関ヶ原合戦の前哨戦で、西軍犬山城の加勢衆を東軍に味方させ無血開城、岐阜城の落城を早めた。岐阜城陥落の報で江戸の家康は岐阜へ向かい関ヶ原へ。国宝犬山城が現存するのは貞泰公のおかげ。



「賛歌 DVD」及び「関ヶ原」誌の希望者はホームページで受付

ホームページ & フェイスブックで情報発信中

黒野城と加藤貞泰公研究会

「黒野城跡をトウカイトンポポで埋め尽くす作戦」

西日本のタンポポ分布調査によると、多品種のタンポポの中でトウカイトンポポの遺伝子が、岐阜→鳥取県米子→愛媛県大洲城に分布。400年前、黒野城主加藤貞泰の国替えでタンポポが広がっていった可能性も。

その発祥地、黒野城跡の土塁内面にトウカイトンポポを咲かせる環境保全活動をスタートしました。初の試みで、公園課には許可を頂きました。

当日は、尻毛の河川敷に咲くトウカイトンポポが前日まで咲いていたが、気候のせい当日は咲いていなかったが、4名のスタッフが茎を掘り、6名が北側土塁内側にラインテープを張り、升内に6株、約90株を移植。今後順次地域のトウカイトンポポを移植していく計画です。



明治・大正・昭和初期 郷土の偉人 郷純造・誠之介生誕地に案内板設置・除幕式

黒野城と加藤貞泰公研究会
2021年(令和3年)4月4日(日)10:00~10:50
郷和彦宅にて

3月21日に予定していた除幕式は雨天延期で4月4日に開催。放送中のNHK大河ドラマ「青天を衝け」の主演、3年後の2024年から新一万円札の肖像になる渋沢栄一を明治新政府への登用を大隈重信に薦めた郷純造。また、その息子の郷誠之助は同じく黒野出身で、渋沢栄一を継ぎ日本経済界の世話役として活躍しました。この度、明治維新～昭和初期に日本の経済界に大きな足跡を残した二人、その生誕地である黒野のご当地郷和彦宅に生誕表示支柱と案内看板を設置し、来賓を迎えて除幕式を開催しました。



来賓のごあいさつ



主催者研究会

当主郷和彦氏



案内板を設置した黒野城と加藤貞泰公研究会の河口耕三会長(右)と郷純造の子孫の郷和彦さん(左) 岐阜市黒野



渋沢栄一を登用した官僚

岐阜市黒野地区の歴史や文化を研究する市民グループ「黒野城と加藤貞泰公研究会」は、日本近代資本主義の父とされる実業家渋沢栄一を大蔵省(現財務省)に推薦した郷純造(1825〜1910年)と純造の次男誠之助(1865〜1942年)の生誕地を示す案内板を同市黒野に設置した。4日に除幕式があり、関係者らが完成を祝った。(高橋夏帆)

郷純造 生誕地に案内板

岐阜市・黒野、市民グループ設置 実業家 誠之助の偉業も

つた東京電灯(現東京電力)や王子製紙など約30社の企業再建を成功させ、東京株式取引所(東京証券取引所の前身)の理事長を務めるなど日本の経済界を牽引した。
2人の生い立ちを記した案内板は、大河ドラマ「青天を衝け」の放送に合わせ、江戸時代からある郷家の庭園に設置。道路側に生誕地を示す支柱も立てた。
式には、関係者ら約40人が出席。研究会の河口耕三会長(73)「同市今川は「黒野の史跡の名所になれば」と話し、純造の子孫郷和彦さん(78)「同市黒野は「訪れた子どもたちの目標となってもらいたい」と完成を祝った。

郷純造と次男誠之助の生誕地紹介

岐阜黒野に案内板設置

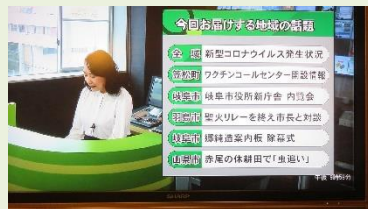
NHK大河ドラマ「青天」の渋沢栄一と親交があった「を衝け」の主人公で実業家 郷土の偉人、郷純造(一八



看板を紹介する河口会長(右)と郷和彦さん(左) 岐阜市黒野

二五(一九一〇年)と、次男の誠之助(一八六五〜一九四二年)の生誕地を紹介する案内板が、郷家の屋敷にあった岐阜市黒野に設置された。
農家に生まれた純造は大坂奉行所の家老を経て江戸幕府の幕臣となり、江戸城の無血開城に関わった。明治政府では、大蔵官僚として初代大蔵次官まで上り詰り、欧米から戻った渋沢を政府に登用するよう大隈重信に推薦した。
誠之助は実業家として活躍。渋沢の遺言にも後を託せる人物として名を連ね、東京株式取引所理事長や日本商工会議所会頭などを務めた。
地元の歴史を研究する市民団体「黒野城と加藤貞泰公研究会」が、ドラマにちなんで案内板の設置を企画。純造の兄の玄孫に当た

地上デジタル放送12ch CCNのエリアトピックス



る郷和彦さん宅の敷地にあり、二人の著作や郷家の資料に基づいた来歴や写真が掲載されている。
除幕式が四日にあり、研究会の河口耕三会長(右)は「大河ドラマを見る人が増え、地元の人にも貢献したとPRできれば」と話し、和彦さんは「子どもが地元で偉人がいたと知り、将来、自分も身を立てたい」と志してくれたら」と話した。(名倉航平)